

NPO 法人ふくしま 30 年プロジェクト

第 10 期 2021 (令和 3) 年度活動事業報告



福島県福島市飯坂町字一本松 11-7

ごあいさつ

平素より、弊法人の運営にあたりましては、格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度は、副理事長の阿部浩美が、2022 年 1 月に脳卒中を患い、そこから、測定活動などが滞ってしまっています。そこに追い打ちをかけるように 3 月 16 日の地震の影響により、ゲルマニウム半導体検出器が停止してしまいまして、点検にだして、校正を取り直すこともありました。阿部浩美さんの体調が、思っていたよりも回復が早いのは本当に嬉しいことです。これからも、また皆さんと続けていきたいと思っております。

昨年 9 月には、たくさんのご寄付を頂き中古のゲルマニウム半導体検出器を購入することが出来ました。ありがとうございました。



理事長 佐原 真紀

令和 3 年 5 月

活動報告

●食品・環境放射能測定

食品・環境放射能測定については、トータル測定数が 441 件となり、2020（R2）年度と比較すると 34 件減となりました【表 1】。測定数が多いのは、「タケノコ・コシアブラ測定」「野生キノコ測定」の測定プロジェクトを進めたことによります。そして、測定検体の傾向としては、食品が全体の 95.7 %と大部分を占め、残りは環境が 0.9 %、土壌が 3.45 %という割合です【表 2・図 1】。

7 月に 1L マリネリ容器の体積線源を購入し、9 月に中古ゲルマニウム検出器を購入しました。また、3 月 16 日の震度 6 の地震により電源が落ちたため点検に出しました。

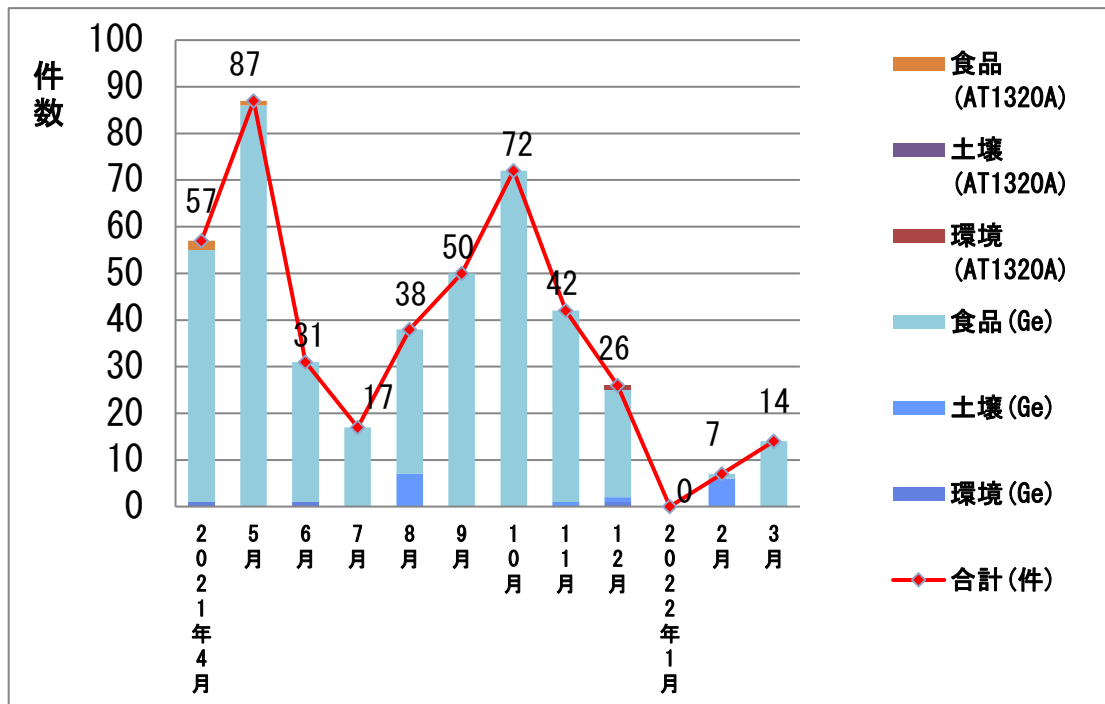
【表 1】2013（H25）年度以降の年度別測定件数

2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31	2020 R2	2021 年度 R3 年度
794	591	661	752	611	335	324	475	441

【表 2】2021（R3）年度食品・環境試料測定件数

	環境(Ge)	土壌(Ge)	食品(Ge)	環境 (AT1320A)	土壌 (AT1320A)	食品 (AT1320A)	合計(件)
2021 年 4 月	1	0	54	0	0	2	57
5 月	0	0	86	0	0	1	87
6 月	1	0	30	0	0	0	31
7 月	0	0	17	0	0	0	17
8 月	0	7	31	0	0	0	38
9 月	0	0	50	0	0	0	50
10 月	0	0	72	0	0	0	72
11 月	0	1	41	0	0	0	42
12 月	1	1	23	1	0	0	26
2022 年 1 月	0	0	0	0	0	0	0
2 月	0	6	1	0	0	0	7
3 月	0	0	14	0	0	0	14
2021 年度 計	3	15	390+29	1	0	3	441
2020 年度 計	19	178	275	0	0	3	475

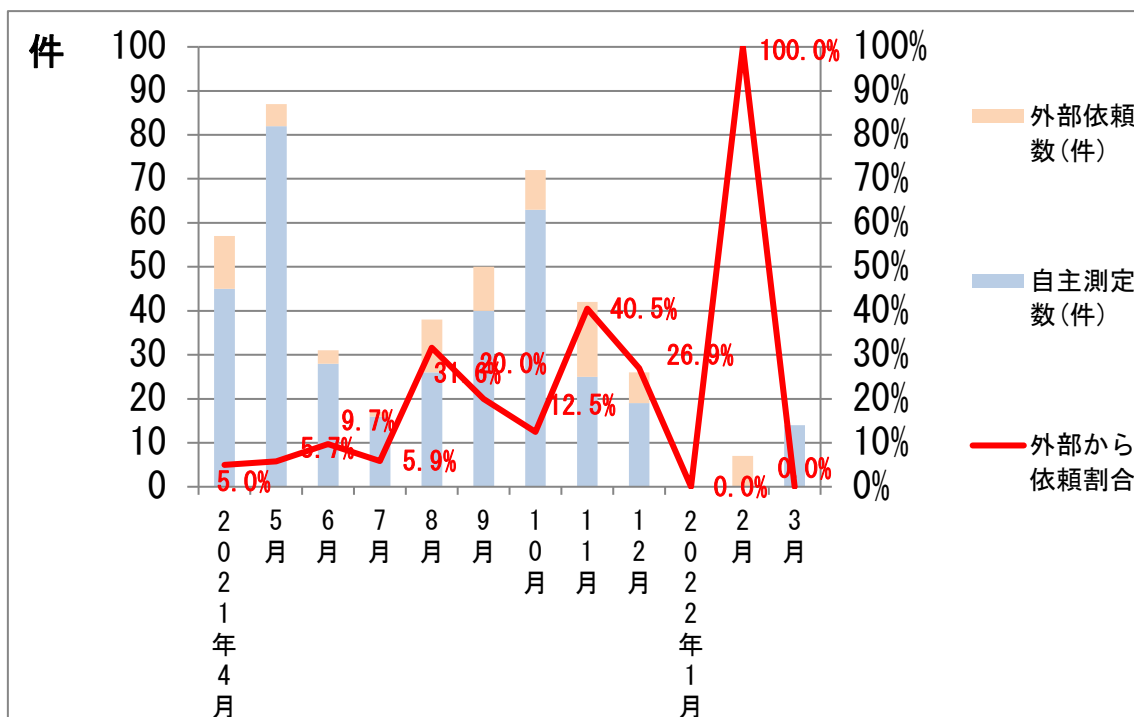
【図 1】2021 (R3) 年度食品・環境試料測定件数



【表 3】外部からの依頼件数

	全測定数(件)	外部依頼数(件)	外部から依頼割合	備考(主な依頼者)
2021 年 4 月	57	12	5.0%	「賛助会員」
5 月	87	5	5.7%	「賛助会員」
6 月	31	3	9.7%	「賛助会員」
7 月	17	1	5.9%	「賛助会員」
8 月	38	12	31.6%	「賛助会員」
9 月	50	10	20.0%	「賛助会員」
10 月	72	9	12.5%	「食品会社」「賛助会員」
11 月	42	17	40.5%	「食品会社」「賛助会員」
12 月	26	7	26.9%	「食品会社」「賛助会員」
2022 年 1 月	0	0	0.0%	
2 月	7	7	100.0%	
3 月	14	0	0.0%	
合計	441	83	18.8%	

【図 2】 外部からの依頼件数



「キノコ、山菜測定」には「ラッシュジャパン チャリティバンク」の補助金を活用させていただきました。

●ホールボディーカウンタ(WBC)測定事業

ホールボディーカウンタ測定については、ありませんでした。

1. 2021（令和3）年度のWBC測定実績

2021（令和3）年度の測定総数は、0名です。

2. WBC校正およびファントム・線源貸出事業

WBCのバックグラウンド校正を下記のとおり1回行いました【表4】。

【表4】

年月	依頼先	作業内容
2022年2月	NPO 法人 いわき放射能市民測定室 たらちね	WBC BG 校正

●勉強会

オンラインによる記憶と教訓の継承活動

2021 年 8 月 21 日 「原発事故被害の「否認」を乗り越える」

宇都宮大学 清水奈名子准教授 参加者 92 名

2021 年 11 月 21 日 「福島第一原発事故の「教訓」を伝える」

福島大学 後藤忍准教授 参加者 87 名

2022 年 2 月 6 日 「いかに人々が「科学的」に惑わされてきたか」

伊達市 島明美さん 参加者 73 名

2022 年 1 月 15 日 『2022 年版 実のところの「セシウム汚染」』

獨協医科大学 木村真三准教授 参加者 55 名

2022 年 2 月 13 日 「にしとうきょう市民放射能測定所あるびれお」主催 zoom 講演会

「ふくしま 30 年プロジェクトの 10 年間の取り組み」 佐原、平井、清水

オンライン講演会の効果で参加人数が、対面での講演会よりも数倍多かった、日本全国や海外からの参加もありました。福島から距離のある方々に福島原発事故の教訓をお伝え出来て良かったです。

オンラインによる記憶と教訓の継承活動には「令和 3 年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業」の補助金を活用させていただきました。

「2022 年版 実のところの「セシウム汚染」には「ラッシュジャパン チャリティバンク」の補助金を活用させていただきました。

●ふくしまくらす交流会

交流会の開催は無しという結果になりました。事業計画では開催を計画していましたが、コロナ禍の状況から、オンラインによる記憶と教訓の継承活動を重点的に行いました。

●福島県内の状況を伝える、研修・交流会

東日本大震災・原子力災害伝承館見学バスツアーはコロナ禍の状況から開催しませんでした。

●ホットスポットファインダー測定(空間線量マップ化)事業

2021(令和 3)年度は、ホットスポットファインダー測定を 1 件行ないました。

福島市曾根田町の測定を行いました。建物との間にホットスポットがあり、地上 10cm で、 $2.997 \mu\text{Sv/h}$ のとても線量が高い所を確認できました。

● みんなのデータサイト（市民放射能測定データサイト）

<https://minnanods.net/>

参加測定室 全国 28 の放射能測定室

食品・環境データ数 20,552 件（219 件増）（弊法人 4,422 件（374 件増））

土壌データ数 3,537 件（92 件増）（弊法人 373 件（16 件増））

高濃度土壌データ数 107 件（弊法人 0 件）

2022（令和 4）年 3 月 31 日現在

弊法人は、市民による放射能測定のデータの共有や連携を目指して立ち上げた『みんなのデータサイト』に、幹事団体の一つとして参加しています。

2021（令和 3）年度の春には、みんなのデータサイトとして手を挙げた 12 の測定室が共同で取り組んだ、たけのこ・山菜の測定プロジェクトに参加し汚染実態を広範囲に調査しました。また、秋の「きのこ」測定プロジェクトにも参加しました。今年度は、菌類懇話会など 17 都県のきのこ同好会に検体採取のご協力を呼びかけました。

「食品等の出荷制限」における放射性物質 100 ベクレル/kg 緩和案の撤回を求める署名

2021 年 1 月 21 日、自民党東日本大震災復興加速化本部内に食品基準値による出荷制限の在り方を検討するプロジェクトチームが発足したことが福島民報、民友で報じられました。同プロジェクトチームは現在の食品基準値（100 Bq/kg）が風評被害を招いているという論旨で、基準値緩和を狙っているということでした。2021 年 3 月から呼びかけてきた、「食品等の出荷制限」における放射性物質 100 ベクレル/kg 緩和案の撤回を求める署名を 11 月 9 日（火）に提出しました。

紙の個人署名 27,961 筆

オンラインの個人署名 7,448 筆

団体署名 50 筆

計 35,459 筆

● 子どもの自然体験と交流事業

コロナ禍で参加者を募集して、マイクロバス等での移動が伴う、自然体験活動は 10 月に入り感染が低下するまで、度々の中止を余儀なくされました。その中、子ども達は、外出やお友達と遊ぶことなど我慢することが多いと思いました。10 月に入り感染が落ちつき、自然体験をする機会を子ども達に作れて良かったです。

2021 年 6 月 田植えキャンプ中止

8 月 夏キャンプ検討したが中止

10 月 稲刈りキャンプ中止

10 月 30-31 日 秋キャンプ

山形県大江町「大江町山里交流館やまさあーべ」

参加者 6 人スタッフ 2 名

脱穀体験、リンゴ狩り、ウォータースライダー体験

11 月 21 日 リンゴ狩り体験 山形県米沢市

参加者 16 人スタッフ 8 名

11 月 23 日 親子グランピング体験 福島市飯坂町茂庭「FOME BASE」

参加者 17 人スタッフ 2 名

12 月 11 日 雪遊び体験 猪苗代町「箕輪スキー場」

参加者 14 人スタッフ 4 名

博物館でしか見たことのない、足踏み式脱穀機や、唐箕を使い稲の脱穀を行いました。小学生低学年でも足踏み式脱穀機を上手に使うことが出来ました。昔の農作業は小さな子ども達も大事な働き手だったと思いました。人数も少なかったですが、みんなで協力して脱穀作業を終わらせたことは、一体感と達成感を味わえたと思います。

子どもの自然体験と交流事業には、「東北 3.11 基金」の助成金を活用させていただきました。



【図 3】 稲の脱穀体験 足踏み式脱穀機



【図 4】リンゴの収穫体験



【図 5】親子グランピング体験



【図 6】雪遊び体験

●アーカイブサイト構築

福島第一原発事故の記憶と教訓の継承として記録誌「10 の季節を超えて」を作成した、この冊子に触れる機会がない人々に対しても情報を提供する機会をつくるために、それらの資料を公開するためのウェブサイトを構築した。紙で印刷すると130ページになり、読み応えのあるものになったと思います。出版社から高校家庭科の資料集にアーカイブサイト内の約1ページの内容を掲載したいと連絡を受けました。

【図7】アーカイブサイト <https://archive-fukushima.org/>



原発事故被害の「否認」を乗り越える

弊法人の10年間の活動のうち、「記録を残す」ことに意図的になったのは清水奈名子宇都宮大学准教授の言葉に触れてからでした。清水准教授は、朝日新聞栃木県版での連載「被災者12人の証言」において、栃木県北の被災者証言集作成の理由に、「記録が残っていないので、そのような被害はありません」と言われることを危惧したためと書いています。そして、弊法人主催の勉強会の講演では、戦争において優先的に保護されない市民と東京電力福島第一原発事故で被災した市民との相似を指摘し、被害者の声を記録にまとめることの重要性を説きました。これらの言説を受けてこの項では、清水准教授に原発事故後の政府や専門家への批評、そして、記録を整理して次世代に伝える重要性を解説していただきます。



洗濯物干しプロジェクト

原発事故後、福島市で子育てをするお母さんのあいだには、外干しの洗濯物に放射性セシウムが付着してしまうのでは?という不安があり、同様の不安を抱えるお母さんスタッフからは幾度となく、「洗濯物の測定をしてみたい」という話が出ていました。この項では、ふくしま30年プロジェクトがタオル等の測定を行なうことで、生活環境中の放射性セシウムの減少を確認していった流れを追います。

詳しく知る 

アーカイブサイト構築には「令和3年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業」の補助金を活用させていただきました。

●放射線健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業）

電気通信大学、大学院情報理工学研究科、石垣陽特任准教授からの業務委託事業

自宅周辺以外で長い時間を過ごす場所である「セカンドプレイス」（職場 保育所）において、放射線の健康影不安に対応するため、当事者（従業員 保護者）や専門家に加えて、事業者を巻き込んだ放射線リスクコミュニケーションを実現する。事前調査から特にニーズが強かった「福島県内の保育所 幼稚園・認定こども園を含む）を利用する保護者」を対象として、事業者を巻き込んだ合意形成を経て、リスクコミュニケーションツールの社会実装モデル化までを行う。

今年度は、放射線の健康影不安に関するアンケートを実施した。

保育園、幼稚園等 53ヶ所へアンケート送付 1483 回答

学童等 99ヶ所にアンケート送付 461 回答

●書籍・物品販売・測定器レンタル事業

書籍販売売上 27,396 円、物品販売売上 53,900 円、賃貸収入 127,587 円

測定器レンタル利用者数 2 人

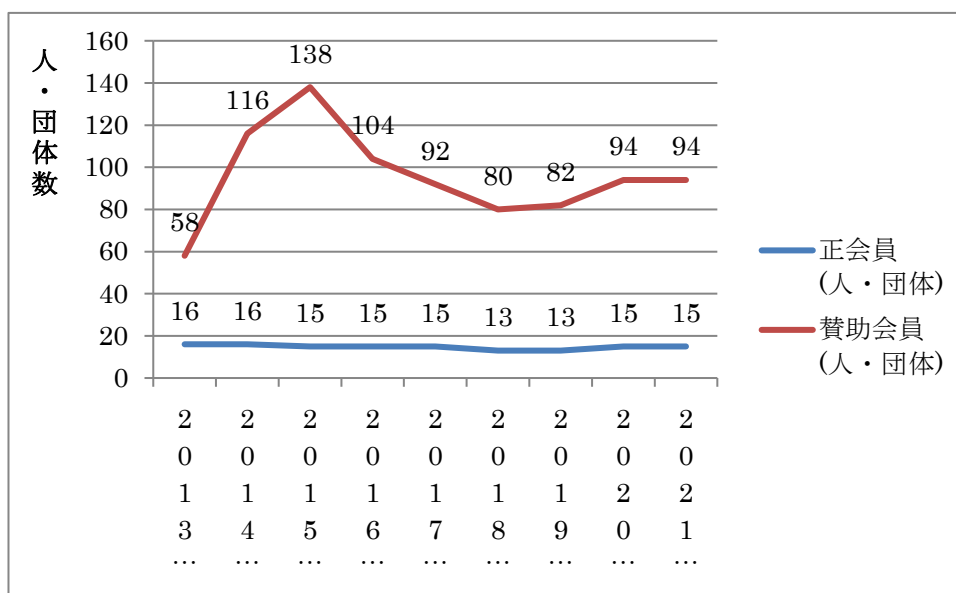
●会員数

2021（令和 3）年度末の時点で正会員は 15 名と昨年と同数でした、賛助会員は 91 名と少し減少しました。【表 5・図 8】。

【表 5】会員数推移

	正会員 (人・団体)	賛助会員 (人・団体)
2013（H25）年度	16	58
2014（H26）年度	16	116
2015（H27）年度	15	138
2016（H28）年度	15	104
2017（H29）年度	15	92
2018（H30）年度	13	80
2019（H31）年度	13	82
2020（R2）年度	15	94
2021（R3）年度	15	91

【図 8】会員数推移



●認定 NPO 更新申請

認定 NPO 法人の有効期間が 5 年間です。現在の有効期間が 2022（令和 4）年 7 月 20 日までのため、3 月に更新申請を行いました。